



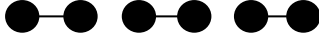




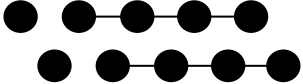

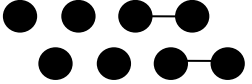

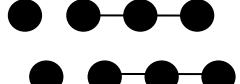




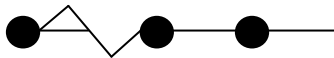

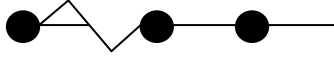
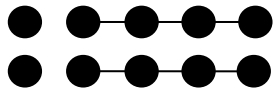

火災信号

サイレンの吹鳴・警鐘の打鐘方法

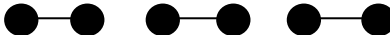
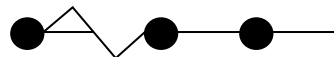

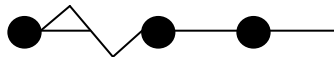

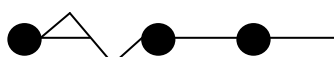


	種別	打鐘信号	余いん防止付サイレン信号
火災信号	近火信号 消防屯所から約800m以内のとき	 (連打)	約3秒  約2秒(短声連点)
	出場信号 署所団出場区域内	 (3点)	 約5秒 約6秒
	応援信号 署所団特命応援出場のとき	 (2点)	
	報知信号 出場区域外の火災を認知したとき	 (1点)	
	鎮火信号	 (1点と2点の班打)	
山林火災信号	出場信号 署所団出場区域内	 (3点と2点の班打)	約10秒  約2秒
	応援信号 署所団特命応援出場のとき	同上	同上
火災警報信号	火災警報発令信号	 (1点と4点の班打)	約30秒  約6秒
	火災警報解除信号	 (1点2個と2点との班打)	約10秒 約1分  約3秒
演習招集信号	演習招集信号	 (1点と3点の班打)	約15秒  約6秒
備考	<p>1. 火災警報発令信号及び火災警報解除信号は、それぞれの1種又は2種以上を併用することができる。</p> <p>2. 信号継続時間は適宜とする。</p> <p>3. 消防職員又は消防団員の非常招集は近火信号を用いることができる。</p>		

○ 水防信号

※ 水防法第13条の規定により、水防信号は次のように区分する。

方法 区分	警 鐘 信 号	サイレン信号	摘 要
避難信号		約3秒  約2秒（短声連点）	必要と認める区域内的の居住者避難の為、立ち退くべきことを知らせるもの
出動信号		約5秒  約6秒	消防団員及び消防機関に属するもの全員が出動すべきことを知らせるもの
警戒信号		約30秒  約6秒	警戒水位に達したことを知らせるもの

○ 津波警報及び津波注意報標識

標識の種類	標 識	
	鐘 音	サイレン音
津波警報標識	 (2点)	約5秒  約6秒
大津波警報標識	 (連点)	約3秒  約2秒（短声連点）
津波注意報標識	 (3てんと2点との班点)	約10秒  約2秒
津波注意報及び 津波警報解除標識	 (1点2個と2点との班点)	約10秒  約3秒 約1分
備 考	1. 「つなみなし」の浸波注意報を行った場合は、標識を用いない。 2. 鳴鐘又は吹鐘の反復は、適宜とする。	